

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 25 日作成)

小委員会名	適応都市検討小委員会	主 査 名：渡邊浩文 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：伊香賀俊治
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>気候変動適応はエネルギー消費だけでなく、建築構造や災害対策に対しても考慮する必要がある。更に将来予想される社会変動への対策と適応も急務の課題となっている。都市気候学的視点からの将来予測手法の高度化に加え、本会の関連他分野との協働を推進する取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2017 年度：適応都市定義 WG を新たに設置し、関連他分野協働の議論を行う</li> <li>・ 2018 年度：WG を含む当小委員会の活動成果公表方法について検討する</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>渡辺浩文 (主査：東北工業大学), 大岡龍三 (東京大学), 飯塚悟 (名古屋大学), 竹林英樹 (神戸大学), 浅輪貴史 (東京工業大学), 足永靖信 (国総研), 近藤明 (大阪大学), 成田健一 (日本工業大学), 鳴海大典 (横浜国立大学), 萩島理 (九州大学), 持田灯 (東北大学), 吉田伸治 (奈良女子大学), 菊本英紀 (東京大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気候変動モデリング WG：温暖化ダウンスケーリングシミュレーションにより将来の気候変動下の都市気候予測を行う。</li> <li>・ 適応都市定義 WG：適応都市の定義を行うとともに、その評価手法の確立を検討する</li> </ul>	
2017 年度予算	80,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス： <a href="https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/q-000/q040-12.html">https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/q-000/q040-12.html</a></p>

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来、環境工学研究者に留まりがちであった気候変動適応に関する議論を、本会他分野の研究者および実務者も参画した議論に発展させることができた。</li> <li>2. 複数のシミュレーションモデルや将来シナリオを導入し、将来の気候変動下の都市気候を予測するとともに、その不確実性について検討した。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・ 課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 将来の気候変動への適応に関する議論は広範であり、かつ都市域を対象とする基礎的な資料の蓄積が待たれていること。</li> <li>2. 委員の本務業務が多忙さを増しており、委員会開催にやや困難があること</li> </ol>